

G20 教育大臣会合 議長総括 バリ島、2022年9月1日

2022年9月1日にG20教育大臣は、G20議長国インドネシアの下、バリ島で会合を行った。この会合には、G20各国、招待国、国際機関がハイブリッド形式で参加し、インドネシアの教育・文化・研究・技術大臣が議長を務めた。

会合では、議長国インドネシアの下、G20の教育アジェンダ、すなわち a) 誰もが享受できる質の高い教育、b) 教育におけるデジタル技術、c) 教育における連帯とパートナーシップ、そして d) 仕事の未来について議論した。また、150以上の教育プログラムとベストプラクティスを詳述した26カ国の教育戦略に関する報告書と附属文書の作成を歓迎した。

第一部

1. 我々は、とりわけ世界中で危機、パンデミック、自然災害、政治的紛争がおこっている今、いかなる時にもすべての人が質の高い教育を受けることができる権利の実現とその継続という課題に直面する中で会合している。多くのメンバーは、学習と教育へのアクセスに影響を与えたロシアのウクライナでの戦争を非難している。一方、教育ワーキンググループ（EdWG）は地政学的な問題を議論するのに適切な場ではないとの意見もある。

2. 我々は、誰もが質の高い教育を享受できるという我々の野心を砕く世界中のあらゆる行動に重大な懸念を抱いている。我々は、危機や紛争の状況下や、緊急事態も含め、いかなる状況においても、子どもや若者に質の高い教育を提供することの重要性を改めて表明する。

第二部

以下の課題については、広く合意が得られている。

3. 我々は、教育を通じて、より強靱で、公平、包括的で平和的かつ持続可能な未来を実現するためのコミットメントを再確認する。

4. 我々は、国連持続可能な開発のための2030アジェンダ、また、これまでのG20教育大臣宣言（2018、2020、2021）において強調されたように、教育は人権であり、平和、寛容、人類共通の福祉の基盤であるという原則を再確認する。

5. 我々は、全ての人について生涯学習の機会を促進するため、包括的で公平な質の高い教育へのアクセスを確保し、COVID-19やその他の危機による学習の貧困を克服するため、SDG4に向けて前進することの重要性を改めて表明する。

6. 我々は、効果的、包括的、有意義かつ公平な教育と学習を促進し、教育の不平等がさらに深まるリスクを軽減するために、デジタル技術と対面型教育を活

用する必要性を強調する。我々は、技術の進歩を活用することが重要である一方で、質の高い教授と、教師と生徒の対面での交流が、教育の将来にとって最も重要であることに変わりはないと認識する。

7. 我々は、COVID-19に関するG20教育大臣声明、G20教育大臣宣言2020及び2021で強調されたように、学習者、特に障害のある学習者、少女及び若者を含む最も不利で脆弱なグループの学習者に対するCOVID-19及びその他の危機の影響から、共に回復し強くなるために教育制度を強化する上での連帯とパートナーシップの基本的役割を再確認する。

8. 我々は、全ての学習者が人生と仕事において成功し、より公平で包括的かつ持続可能な社会に貢献できるよう、生涯学習と適切な知識、能力、態度の習得を促進することに尽力する。

誰もが享受できる質の高い教育

9. 我々は、持続可能な開発のための教育（ESD）の重要性と、包摂的で公平かつ質の高い教育を確保し、全ての人について生涯学習の機会を促進するためのSDG4へのコミットメントを再確認する。我々は、COVID-19やその他の危機によって悪化した学習の貧困と教育の不平等との闘いを継続する。我々は、質の高い幼児教育・発育への公平なアクセス、基礎的な技能と能力、とりわけ識字能力と計算能力の習得、学習者の身体的・感情的なウェルビーイングを守ることの重要性を強調する。

10. 我々は、すべての学習者、特に、性別、障害、民族、社会経済的不平等、学習関連の障壁、あらゆる形態の差別など、過大な課題やさらに遅れをとるリスクに直面している脆弱な状況にある学習者を支援することに尽力する。

11. 我々は、教師、学校の指導者、その他の教育専門家が、学習の回復と誰もが享受できる質の高い教育の達成に不可欠な役割を果たすことを考慮し、デジタル技術の利用を含む継続的な専門能力開発と質の高い訓練の提供を支援する。

12. 我々は、適切な水準の教育への投資を継続し、教育制度を強化するためにこれらの投資を最も効果的に活用する必要性を強調する。

教育におけるデジタル技術

13. 我々は、教育へのアクセス、質、公平性の問題に取り組み、より双方向で、個別最適化され、魅力ある学習体験を提供する上で、デジタル技術の潜在能力を活用する必要性を強調する。

14. 我々は、デジタル技術が、接続性を高め、よりアクセスしやすく安価なリソースやツールを提供し、学習者、教師、学校の指導者、その他の教育専門家の

デジタルリテラシーの能力を向上させることにより、教育への普遍的なアクセスを確保し、学習の回復を加速させる可能性を認識している。

15. 我々は、学習者のデータプライバシー、保護、セキュリティの確保、差別、性別に基づくハラスメント、ネットいじめの防止、誤報・偽情報への対策、教育におけるデジタル技術の使用における包括性と倫理的取扱いの向上の必要性を強調する。

16. 我々は、教育におけるデジタル技術の最適な恩恵を阻害するデジタル格差の課題を認識する。我々は、デジタル格差を縮減するために、関係者を巻き込みながら、短期、中期、長期的に適した解決策を共同で模索することに尽力する。

教育における連帯とパートナーシップ

17. 我々は、より強靱で効果的な教育制度を再構築するために、G20 内外の関係者に力をつけ、教育への障壁を取り除き、教育・学習環境を改善し、教育のあらゆる段階における移行を支援するために、連帯して行動する必要性を認識する。

18. 我々は、我々の共有するコミットメントを強化し、多国間及び国際機関を含む全てのレベルにおいてインクルーシブな教育及び訓練のための投資を促進するために、gotong royong※の精神に則り、協働することを奨励する。

※Gotong royong とは、インドネシア語で「期待された結果を達成するための共同活動」を表す言葉である。gotong（仕事）と royong（一緒に）という言葉に由来している。これは、個人とコミュニティの利益のために、課題を完遂するために協力するという形で現れる、社会における一体感の一種である。Gotong royong は、コミュニティが困難を克服し、問題を解決するための熱意と習慣を持つメカニズムである。災害時や農作業、道路や橋、用水路、学校などの公共施設を建設する際にも、伝統的に適用される。このように、Gotong royong は自然発生的な活動だけでなく、公共生活運営のさまざまな側面で制度化されてきた。

仕事の未来

19. 我々は、学習者が仕事や社会への有意義な参加と貢献に備えるために不可欠な、批判的・創造的・革新的思考、技術的・社会的・感情的能力、ウェルビーイングを含むあらゆる能力の習得を支援し、生涯学習を促進するために、我々の教育・訓練制度において、全ての段階における質の高い、統合的で、適応性があり、柔軟かつダイナミックな教授と学習を促進するというコミットメントを再確認する。

20. 我々は、高等教育、技術・職業教育、訓練において、産業界、パートナー、その他の関係者と協力して開発・実施される学習・訓練プログラム（プロジェ

クト型学習、インターンシップ、実習、起業教育など）を通じて、関連能力を育成することの重要性を強調し、社会人になる前の学生により良い備えを提供する。能力の習得は、学習者が社会に求められるデジタル、経済、社会、生態系の変革を担うことができるようにする必要がある。

21. 我々は、雇用と教育のワーキンググループが共同で策定している改訂版 G20 スキル戦略を支持する。この戦略では、個人、企業、経済、社会に利益をもたらすために、誰もが享受できる質の高い教育を達成し、生涯学習を促進するための行程を進める各国の指針として、適切なスキルの育成と生涯学習の重要性が強調されている。我々は、G20 スキル戦略の実施を支援し、モニターするために、雇用ワーキンググループと教育ワーキンググループが将来的に協力することを期待している。

今後の方向

22. 我々は、現在及び将来の危機によりよく備えられた、より強靱で効果的、公平、包括的で適応力のある教育制度を再構築する。また、2030 年までに誰もが享受できる質の高い教育と、調和と協調あるウェルビーイングの達成に向けて、パンデミックやその他の危機によってもたらされた学習損失から回復するための政策を緊急に設計、実施している各国を支援することに尽力する。

23. 我々は、教育における多様な課題に対処するための知識の共有を促進し、gotong royong の精神に則り、誰もが享受できる質の高い教育、教育におけるデジタル技術、連帯とパートナーシップ、仕事の未来という分野において横断的に協働するというコミットメントを再確認した。

24. 我々は、教育政策及び実践におけるアプローチや学習資源・方法を統合することにより、教育を変革し、国際協力、連帯及びパートナーシップのためのより大きな機会を開くという国連とのコミットメントを再確認する。我々は、2022 年教育変革サミットに、G20 の声を届けることの重要性を強調する。これは、人類と地球にとって、より平和で、包括的で、男女平等で、持続可能な未来を形作るのを助けるための我々の協調的取組となるものである。

各国大臣は、G20 におけるインドネシアのリーダーシップと、2022 年教育ワーキンググループの見事なとりまとめに感謝した。我々は、2023 年及び 2024 年それぞれの議長国であるインドとブラジルを支援し、世界の復興とそのさらに先を先導するために、パートナーシップと協力の精神の下、G20 教育アジェンダの達成に向けたコミットメントが継続されることを期待する。